



平成27年3月16日

各 位

上場会社名 ピー・シー・エー株式会社
 代表者 代表取締役社長 水谷 学
 (コード番号 9629)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 佐藤 文昭
 (TEL 03-5211-2711)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成26年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,198	453	483	283	41.40
今回修正予想(B)	8,166	△199	△182	△198	△29.01
増減額(B-A)	△1,031	△652	△665	△481	
増減率(%)	△11.2	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	10,474	1,110	1,138	604	88.23

平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,400	372	247	36.19
今回修正予想(B)	7,484	△133	△117	△17.21
増減額(B-A)	△915	△505	△364	
増減率(%)	△10.9	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	9,693	917	538	78.62

修正の理由

平成27年3月期第4四半期に入り、大企業向けIT市場においては、昨今の景気の回復感に伴いシステム更新需要が増大する等、好環境下に入りつつあります。これに対し、当社グループの主要顧客層たる中小企業向けIT市場においては、IT利用の主体である国内パソコン出荷台数の1月分の統計値が前年比で51%まで落ち込んでおり、前年度は消費税率引き上げやWindowsXPサポート終了に伴う特需効果が当社の見込み以上の成約率を頂いていただけに、逆に今年に入ってからの売上高の反動減は、当初見込み以上に顕著となりました。

また、平成26年11月に発表された消費税率10%増税の一年半の延期により、当第4四半期に予定していた10%消費税率導入を見込んだ販促キャンペーンが中止され、代替策としての各種販促施策を推進しているものの、前述キャンペーンによる収益の見込み額に及ぶことは難しいとの判断をせざるを得ない状況となっております。

一方経費面において当社は、中期的展望に鑑み、10%消費税率導入時には軽減税率等への対応も予想されることから、お客様へのサービス提供品質維持に万全を期すため、製品開発、検証、そしてお客様対応コールセンター等における早期増員を図り、万全の教育等を施すことを目指して先行して費用計上を行っております。また、広告宣伝費の多くを占めるTV CMについても、長期的展望に立ち、金額の調整は行いながらも継続実施をしております。更に、臨時的なトビックスとして、税制改正に伴う繰延税金資産の取り崩しにより、一時的な費用が見込まれます。

このような状況下で第4四半期たる年初からの予算の執行状況と3月度の見込み状況を検討したところ、平成27年3月期の業績予想各数値は、当初予想を大幅に下回る見込みとなりました。

当初予想値との大幅な乖離により、上場以来初となる、通期赤字決算の見込みを発表することとなり、ステークホルダー各位にご心配をおかけすることとなり、心よりお詫び申し上げます。なお、今期末の配当については、中長期的観点から安定配当を実施する方針に従い、1株当たり普通配当31円00銭を予定通り実施する方針であります。

なお、来期においては、マイナンバー制導入に伴うIT需要取り込みの積極的な営業展開と、クラウドユーザー拡大の推進を強化、更には経費節減を徹底し、堅実な経営を実施していく所存でございます。

以上